

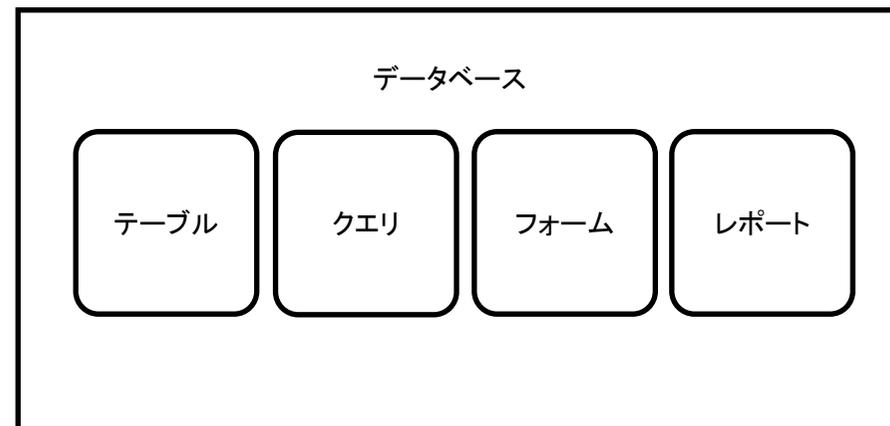
「ナビシステムによる関東甲信越ブロック競技会運営システム」 「バックエンド」について

「ナビシステム」は「Microsoft-Accessアプリケーション」を使用しています。

標準のデータベース

「アクセス」はリレーショナルデータベースです。

- テーブル データのかたまりです。エクセルと似ています。
- クエリ テーブルのデータを操作します。おもに選択や並べ替えをします。
- フォーム 画面を表示したり、操作します。
- レポート 印刷をします。



テーブルを分割したデータベース

データ側のデータベースを「バックエンド」と呼びます。表示、操作側のデータベース「フロントエンド」は、「本体」となります。

利点は、データとは別に開発・変更ができるため、複数に配布してもデータに影響はありません。

「バックエンド」を入れ替えることによりデータを複数で共有できます

バックエンド(データ側)

フロントエンド(操作側) ※本体

